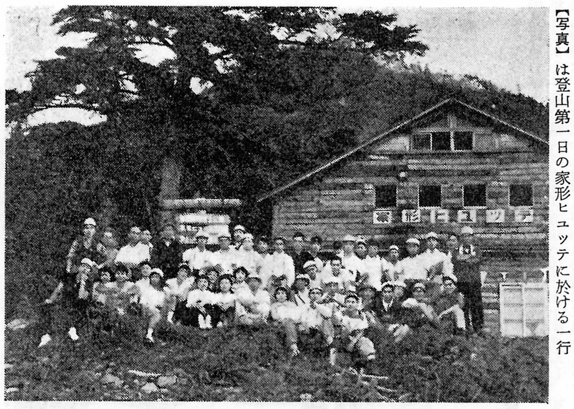
くにみ

【第２３号】
昭和34年８月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

今年は共同作業所など
農村振興特別助成事業

新農村建設事業は昭和三十一年度よりはじまり、本年は第四年目を迎えた。わが町では昨年総事業費　四、三五八千円（内一、九六七千円は国庫補助）で青年研修所外五件の建設を実施し、それぞれ目的達成のために活用しているが、本年度は、大木戸、高城、光明寺農事組合が共同作業所一棟二二坪を建設し、精米精麦圧扁などの事業を行い、部落民の利用に供することになり、又小坂農協では共同集荷所一棟三〇坪下屋二〇坪を建築し農産物、果物を主として集荷し、共同選別、荷造り、出荷と統制ある作業によつて市場の名声を高め、農家の経済向上に乗りだすことになつた。いずれも十一月下旬までに完成する予定で関係者ははりきつている。（経済課）



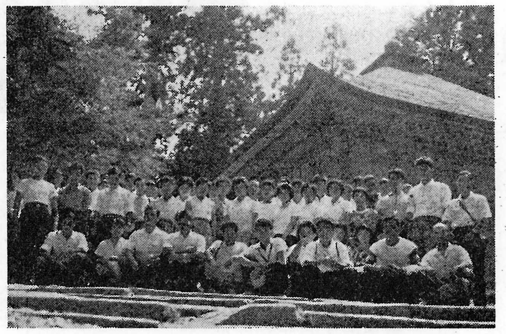
【写真】は登山第一日の家形ヒュッテに於ける一行

われらの青年学級
ＮＨＫで放送

ＮＨＫでは、毎晩青年の学習に役立つような放送をしているが、去る十二日午後七時四十分から二十分間、第二放送「若き世代へ」の時間に、わが国見町青年学級の活動についての座談会を開き、その状況を放送した。この放送は録音していただいたので、当夜ききもらされた方は、これを利用して下さい。尚当日の出席者は次の通り

（小坂）若林清一、後藤好美
（藤田）岩城重夫、斎藤好子
（森江野）佐久間隆蔵
（大木戸）半沢　博

平泉の旅……藤田青年学級



クリーム色の車体、ゴムマリのようなクッション、夢にまで見た「やまびこ」は、われら一行五十四名をのせて、緑一色のみちのく路を矢のように北上する。

時速八〇㌔、仙台の雑踏、松島の絶景など見向きもせず、やがてあこがれの都平泉につく。貝田部落を思い出す位の町だ。駅前ではホロ馬車がピーピー笛をならして客を呼んでいる。原子時代、スピード時代になつても、歴史の町は、昔ながらの静かな町、情緒豊かな里であるのが微笑ましい。

歩いて約二十分、私達は中尊寺の入口につく。ガイドの案内で、老杉立ならぶ坂道を上る。このあたり月見坂と呼び、まもなく東物見台につく。ここは一番見はらしのよいところで、眼下に横たわる北上川と衣川の合流点あたりが、弁慶が立往生した古戦場であるとか。このあたり一帯、昔は侍屋敷や民家が立ち並び、仏教によつて乱世を治めようとした藤原氏は、中尊寺をはじめ多くの堂塔伽らんを建立した。併しその寺や屋敷も兵火にかかり、野火に焼かれて大方は田園と化し、残つたものは数少い。平泉の町には今ぎおん町、柳町など、京都の町名と同じところがたくさんあるとか。

中尊寺前で昼食をし、大門から本坊へ、そして讃衡蔵を見学する。これは数年前にできた防火作りの宝物館、三千余点の宝物が展覧されている。二千八百巻の一切経を蔵する経堂往時をしのぶ絵画や御所車を陳列する懐古堂を見て金色堂へ向う。

金色堂は光堂とも呼ばれ清衡、基衡、秀衡いわゆる平泉三代の廟所である。堂の須弥壇の下には今尚完全なミイラになつた三人の遺骸が安置されているという。八百五十年前に建てられ、その後百八十年、荒廃甚だしいのを悲しんだ時の人、覆堂（さや堂）をもつてこれを守つた。三間四方の小宇であるが、その柱、はり、けた、天井、床、そこに安置された定朝作の仏像、仏具、すべておどろくものばかり、八百年の昔、東北の片いなかにこの高い文化を築いた藤原氏の偉大さというよりは、わが国の文化の高さに敬服せずにはおられない。

五月雨の降りのこしてや光堂
夏草やつわものどもが夢のあと

ここの一木一石に接してはじめて芭蕉の句の実感が出る。

三時九分、後髪を引かれる思いをのこして平泉を立つ。途中仙台の夜景を観賞して十一時すぎなつかしのわが家についた。

私たちは今日の旅行で、歴史への感動と、人の世のうつりかわりを強く身をもつて感じとる事ができた。そして史蹟「あつかし」をもつわれらは、歴史を通して平泉につながり、藤原氏とも無縁でないことがわかつたのである。

八月二日　矢部安男記

夏季衛生十則
夏の衛生に注意しましよう

国見町では、今のところ幸に赤痢も疫痢も発生しておりません。しかし、これから残暑の季節にかけてあぶないですから左記事項について特に気をつけて下さい。

一、家のまわりの清掃は常時行うこと
二、食事の前後には必ず手をあらうこと
三、食物はすべて新鮮なものをなるべく煮沸してたべること
四、こどもの寝冷えやたべすぎに注意すること
五、夜具の日光消毒をすること
六、便所の週辺に薬剤を散布すること
七、下水溝は特に掃除すること
八、便つぼにはふたをしておくこと
九、水道栓にホースをつけたままにしないで、使用後はすぐに取りはずしておくこと
十、下痢をおこしたら、すぐ医師にかかること
⊠かや・はえの駆除薬剤の散布は保健委員を通して共同購入して下さい。

（厚生課衛生係）

吾妻登山の記　㈠

七月二十五日

昨日までの長雨は忘れたように夏の日ざしはまぶしい。車庫に集つた顔ぶれは、昨年の蔵王の顔なじみもずいぶんいる。明日登る愉しみと期待に皆子供のようにはしやいでいる。

午後一時半、八ミリカメラに見送られて出発、「国見町公民館御一同様」の貸切バスは、新装の国道を一路高湯へと急ぐ。高湯で小憩。高湯から今日の泊りの家形ヒュッテまで徒歩の予定が、バス会社のサービスで有料観光道路を不動沢橋までＯＫとのことだ。高湯から水呑場まであえぎながら登る急な登りが、今日は素晴しいハイウエイを福島市街を見おろしながら一気に登る。やがて名物になろう不動沢橋は、竣工が間近く、六〇㍍の深い沢をまたいだ鉄骨の橋梁が深山に調和している。

三時四十分水呑場出発、小畑リーダーを先頭に一列縦隊、賽の河原で小憩。このあたりから盆石の権威奥山講師の講義が始まる。賽の河原を過ぎると間もなく、誰かが「国見町が見える」と叫ぶ。なるほど石母田林道や越河の無電中継塔などがはつきり眺められる。家形もすぐ目の前にあらわれる。硯石小憩、夕日に輝くラクダ、シモフリが美しい。シモフリのすぐかげが吾妻小富士とのこと、大根森をすぎるとすぐヒュッテだ。もう一息だ。このコースをつい先日、日本縦走隊が通つたそうだ。五時四十五分ヒュッテにつく。家形山のふところに抱かれたヒュッテの炊煙がなつかしい。ヒュッテからの町の灯はことさらに美しい。飯坂辺だろう、ネオンが見える。

（以下次号）

小坂峠　第二期工事着工
東北の十国峠実現へ

昨年から五ヶ年計画で小坂峠を改修し、山の神から頂上にかけて六㍍幅の自動車道路を開き、裏日本との最短路を確保しようとしているが、本年度も安細組の請負で着工された。本年度は延長三二〇㍍、工費七五〇万円で、完成のあかつきは、交通と観光価値を兼備した、東北の十国峠として極めて高く期待されている。

吾妻登山後日譚
八ミリ試写と反省会

七月二十五・六日行なわれた吾妻登山の一行四十五名は、本月五日夜青年研修所で友省会を開き、登山の際撮影した八ミリ映画の試写鑑賞し、各自写した写真を集めて記録アルバムを作り、公民館に寄附した。尚明年は蔵王登山を希望するものが圧倒的だつた。

「自転車の登録をしましよう」
三十円の偉力　これで安心

自転車の盗難予防と被害回復のために、併せて置去り自転車の発見のために、必ず自転車の登録をしましよう。

○車には車籍標をつける
○警察署に車籍カード保管
○持主は所有者カード所持

愛の図書
三輪車一台

第九回社会を明るくする運動実施について、わが国見町社協並に司法保護司会では、婦人会の協力を得て、町内より古図書、雑誌等の献納運動をすすめていたところ、このほど四、五六四冊の寄付がまとまつたので、七日これを福島保護観察所へ送つた。（厚生課）

議会だより

七月臨時町議会
（国民健康保険税の一部を改正する条例の件など審議）

七月十六日町議会臨時会が開かれ、会期は一日、議案は次の通り

日程第一　国見町国民健康保険条例の一部改正の件
税率の改正で、昨年に比し所得割で百分の〇、一増、資産割で百分の四、二二減、被保険者均等割（被保険者）一人につき四十円増、世帯別平等割は昨年と同じで、原案通り可決された。

日程第二　国見町職員の給与勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正の件
国家公務員の給与改訂に準じての改正で、その内容は六月支給の期末手当百分の十五増額、初任給引上げ一部号給の昇給期間の短縮暫定手当を廃止して本俸繰入等で原案通り可決された。

伊達地方町議会議員大会

七月二十六日、伊達町に第八回伊達地方町議会議員大会が開かれ、本町からも全議員が出席、次の案件が採択された。

一、県道藤田〜小坂線、藤田〜保原線、藤田〜梁川線、梁川〜貝田線の改良、幅員の拡張実現方要請の件
一、旧国道四号線を県道に編入方要望について
一、主要県道の舗装、幅員拡張促進方要望について
一、町村議会事務局設置促進方について外五件

水稲の最後の仕上げ
（穂首いもち病の防除　薬剤の予防散布で）

一、出穂期別に防除計画をたてましよう
早生、中生、晩生種別に防除計画をたてる
二、薬剤散布の時期は
1、穂ばらみ期（出穂前）に薬剤散布を行ない、病菌の密度をできるだけ下げて出穂させる
2、出穂初期に散布して穂首を守る
3、枝梗いもちの多いところは穂揃五日後頃にさらに散布する
三、農薬は
水銀粉剤又は水銀製剤（乳剤水和剤）を使う
四、落水は
山間高冷地を除いては普通より一〇日位おくらせる
五、薬剤散布上の注意
1、薬剤は一〇アール当り三キログラムを均一に散布する
2、降雨続きの際は小雨時においても薬剤散布を実施する
◎くわしいことは普及員におたずね下さい

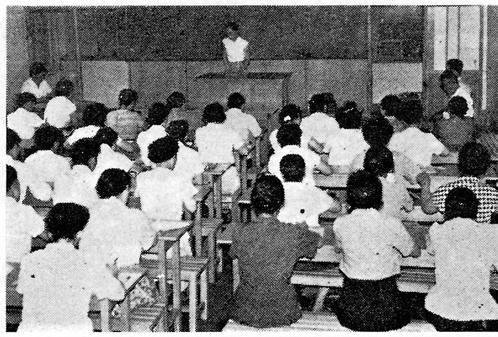
（経済課）

◎八月三十一日までお忘れなく……町県民税第二期・国民健康保険税第二期

◎（考えもの）…あなたはねらわれている……さてわたしをねらっているものはなんでしょう

第1回 生活改善講座開く

▷……栄養素などの研究……◁



国見町連合婦人会と生活改善推進委員会共催の第一回生活改善講座は、七月二十七日午前九時から青年研修所で開かれた。各部落から推せんされた婦人四十五名は佐久間、古宮両先生を講師として、婦人解放と生活改善、生活の合理化と迷信追放など多彩な学習を展開し、午後は主として栄養素についてくわしく勉強した。尚学習は幻灯を利用して面白くすすめられ、おひる休には歌や踊を練習してほんとうに楽しい一日であつた。

次回は八月二十六日午前九時生活の合理化と迷信陋習の打破について勉強する。

部落の婦人会長は、前と同じ方法で講座生を推せんし、地区婦人会長はこれをとりまとめ、八月二十日までに公民館に報告する。地区定員次の通り。（　）内は第一回の出席数

小坂	一〇	（八）
藤田	二一	（一八）
森江野	一三	（一〇）
大木戸	六	（四）
大枝	五	（四）

◎講座について問答二三

A　食生活改善の必要なことはわかつているのだから、栄養料理の実習でもしたい。

答　それは希望者でグループをつくり、先生をたのんで講習するようにしてもらいたい。この講座はなるべく広い多くの人々に生活改善の大切なことをさとつてもらうことがねらいです。一人の百歩前進より百人の一歩前進をのぞんでいます。

B　一回だけでなく、次回もつづけて出席したいが。

答　希望者は何回でてもよいがそのために他の人の出席をさまたげてはよくない。毎回必ず新人を出席させるのが立てまえです。

C　抽象的な頭の学習より実際的な技術の方が大切だと思うが。

答　日本の婦人はもつと考える態度と力を学びたい。考える婦人になつてください。

森江野夫妻学級

夫婦そろつて楽しい学習

おとなの学習活動を、心から楽しく豊かに、みんなが喜んで集るようにしたい。

とうちやんは「なんの集りだ、かんの会議だ。」と毎晩のようによく出て歩くが、女は出られない。そこを夫婦そろつて出かけられる集りにできないものか。

婦人会や学校参観日に、とてもためになるいいお話をきいて来たので、とうちやんに話しかけると、「おらうちではそいつはどうも――」とにげられる。ほんきで考えるには、どうしても夫婦いつしよに学習するに限る。

昭和三十三年の暮、PTAの役員や地域の主だつた方方から、夫婦そろつて学習したらという話が出てきた。湯野小学校長今井豊蔵先生のご指導もうけた。

そこで学習計画の骨組みを年間十五回位とし、農繁期は月一回、農閑期は二回以上やることとし、運営委員会ができ、生徒もきまつて一月から毎回必ず感想発表（ラジオ、新聞、雑誌などから最近感じたこと）をする。また簡単なレクも入れる。通知などは、

○月○日　森江野夫妻学級

△△△ご夫妻殿

学習日のお知らせ

雨がふつたり、暗かつたりすると、あつまるのにお互に難儀しますので、こんどの学習日もわれわれ夫婦の仲の良さで、好天気になりますようにみんなで祈りましょう。日程は次のとおりです。ぜひお揃いで出席してください。

記

一、とき・ところ
○月○日　午後七時半
小学校礼法室

二、学習すること
「家庭を明かるくし、家族がいつそうむつまじくするにはどうしたらよいか。」のまとめをする。

三、学習のしかた
司会をおいて話しあいをすることを主とする。

四、いつものとおり、お茶代や講師先生をたのんだ時のお礼に使うために、ご夫妻で弐拾円持つてきてください。

というふうにしている。

当日は、とても申し分のないよい運営ぶりで、出席は百パーセント、発言もなごやかでみんな睦まじい夫妻のあつまりである。

なお、夫妻学級の生徒心得は、次の三ケ条で、とてもよく守られている。

(一)、お互に年を忘れ、童心にかえること

(二)、お互に地位を忘れ、気やすくたいらに接しあうこと

(三)、夫妻互にいたわりあい助けあうこと

こうして生徒夫妻は、農作業やいろいろの役割で忙しいなかにも、次の学習日がくるのを心から楽しみに待つている。（鈴木彦衛記）

人生学校

（修行のうた）

猫の皮と人の皮

春日佑幸

これはと思う時にだけ
よそゆき風の声色や
殊勝な態度をみせながら
それがすぎると別人の
すがたにもどる仕掛では
メツキがはげたわけだから

これはと思う時にだけ
猫をかぶるということは
偽善的ともいわれるが
りつぱな人のまねをして
一生それを通すなら
それは尊い修養だ

だからこのまま人間の
皮をかぶつていながらも
この向上のいとなみを
続けて行こうというならば
偽善どころか格段に
尊い人間形成だ

いつも愛想よく奉仕して
いる店が繁昌し、誠実明
朗な人に青い鳥がとんで
くる世の中なのに

伸びる途上にありながら
謙虚な態度を忘れはて
むやみにあたりちらすのは
見込のうすい存在だ

若い頃には何ごとも
まあまあという人間が
昔の例をまくしたて
りきみかえつているならば
悪くとしよつた標本だ

何しろ人生修業には
りつぱな皮を研究し
それをじぶんの身につける
向上練磨の精神を
忘れないのが幸福を
もたらす基礎であるそうな

成人学級をやりましょう

開設も運営も自主的に

「青年には青年学級あり、婦人に婦人学級があるのに、おやぢには何の学級もないのは不公平だ」との声が出ているので、国見町公民館ではこんど、おやぢさんに入つていただく成人学級を始めることになつた。

これはおとなの方方の人格を尊重し、その設置も運営も学級生の自主性によつて行なうので、希望者は奮つて参加して下さるよう望んでいる。尚開設希望者は学級開設要項に従つて三十人以上のグループをつくり、開設報告書を提出する。規定の要件をそなえた学級に対しては予算の範囲内で補助をすることになつている。くわしいことは各小中学校の校長（公民館主事）先生に御相談下さい。

婦人方に望む

早田　盛

国見町ではこの度、青年の補導員が各部落に設けられ、子どもの面倒を見ていただくことになりましたが、各家庭のお母さん方も歩調を合せて「児童が心身ともに健やかに生れ、且つ育成されるよう」国が念願しているようにお子さま方のしつけに努力していただきたいものです。

特に乳幼児の場合は、先ず妊婦の健康管理から始めなければなりません。猫の手も借りたい農繁期にはやむを得ないこととは思いますが、経営の合理化をはかり、家族労働力の適正な分配を考えて、婦人方はなるべく軽労働にまわるよう工夫して下さい。

勿論、水道区域内の家庭では水道を引き、台所の働きを楽にすべきでしょう。

本町でも毎年未熟児の出生が相当ありますが、これを育てる親さん方も、指導する側も、容易ではありません。国ではこんど、未熟児対策として、いろいろ手当の方法が法律化されてまいりました。しかしなかなか、丈夫に育てあげることは並大抵ではありません。

従つてこれらが、乳幼児の死亡率を高める原因ともなつています。乳幼児の死亡率の高い低いが、その国、その町村文化の水準を推定する基準とされています。ですから、なるべく未熟児をうまないことです。それには、妊婦の健康管理が大切です。妊婦の栄養が不十分で、且つ過労の場合、又は妊娠中絶を何回もやつた母体に未熟児の出生が多いといわれています。特に中年の婦人に多いようです。このことは、保護家庭はもちろんのこと、低所得層の家族計画に基ずく受胎調節指導の重要性を強く示唆しています。きゆうりでもうらなりはへぼにきまつています。産んで苦労するより産まぬがましです。

次には、この頃のごく若い結婚婦人にも、未熟児の出生が割に多いといわれます。新憲法では、若い娘さんでも満十八才で同意結婚を、満二十才で自由結婚を認められていますが、これは年令の上からのことでミシンは踏めても、生理、衛生、育児の教養が十分身についていないうちに、不用意な結婚生活に入る結果ではないでしょうか。家族計画とは、こうした結婚前期における準備教育を十分身につけることから始まるのであります。婦人の休養と教養のため、婦人の定休日を設けることなど如何なものでしょう。旦那様方とよく相談して見て下さい。

PTA訪問記（2）

（藤田小の巻）

子どもにとつて楽しいはずの夏休がかえつてたいくつになつたり、悪の道への入口になつたりしては、家庭の親たちにとつても、学校の先生方にとつても、とかく心配のたねになりかねない。藤田小学校ではこの点微細にわたつて対策を立て、PTAはこの学校側の企画に全面協力をしているようだ。

「休中学校と児童の心を結びつけておくために――」といつて、PTAの参謀格後藤先生は、休中の夏季施設を列挙される。

山の植物採集会　鬼面山
海浜採集会　荒浜海岸
らくやきの会
植物をしらべる会
音楽教室
児童召集日全校並に学年

など、その教育的意図を説明されるのをきくと、子どもでなくとも学校にきたくなる。次に児童の自発的研究のためには図書室、音楽室、理科室、工作室、プール等学校施設の一切を開放してその利用に供しているとの事。

今日は、宮町北部落子供会の写生会があるというので青年研修所に行つてみる。講堂には、すでにかきあげられた子どもたちの図画が一ぱいはられている。炊事場では会食用のおかず作りに十数人のお母さんが汗だくである。風呂もすでにわいている。会食をし、ジュースを一本づつラッパのみするほほえましい顔、一日おきの朝のラジオ体操で七十七名の子どもの心は完全に掌握しているし、子どものかすがいとして親たちの気持もぴつたり一致しているようだ。他の部落でも大てい一～二回づつはここを利用して、お楽しみ会幻灯会、学習会などをやつている。

「今年は研修所のおかげで、大変助かりました」といわれてみて、改めて集会施設の必要性を痛感した。

黒板のプログラムを見ると、午後には幻灯、お語、のどじまんなどあつて四時終了とのこと。（鈴木記）

【写真】緑陰の写生、窓からはおいしいにおいが流れてくる

レコードコンサート案内

天高く気うららかにして、月色玲瓏たる初秋の宵に、心ゆくまで名曲に耳をかたむけ、美しい音楽を味わうため、左記によりレコードコンサートを開きます。皆様の御参会を心から歓迎します。

とき　九月十七日夜
ところ　青年研修所
かね　金五十円
申込　九月十五日迄会費をそえて公民館へ
主催　音楽愛好グループ（代表村上光芳）
後援　国見町公民館

編集後記

○盆踊りの新生活運動は？老若男女、親子夫婦、心からたのしく揃つて踊れる踊りがほしいもの。昨年の森江野地区のやり方など大いに参考にして可なるもの。（くにみ十二号参照）

○祭りの新生活運動は？祭りは元来信仰から出発したもの、従つて感謝とむつみとよろこびときよめとたのしみとでありたいもの、うらみ、あらそい、けがれつかれなど、もろもろの社会悪の温床になつては神様に対し申わけない。

○映写機購入資金寄附どしどしあつまる。百の論より一つの実行。

○青少年補導組織に幾つありや。
曰くPTA校外補導委員会
曰く防犯協会青少年補導部
曰く高校生保護委員会
曰く○○部落青少年補導委員会
曰く青年学級
曰く青少年団体
それで尚且つこれらの網からこぼれているものありとするなら、網が破れているのか、使いようが悪いのか。（鈴木生）